



会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



つくし

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会 長 鈴 木 善 作
幹 事 高 橋 辰 美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 800 号 1975. 4. 15 (火) (晴) No.40

◆出席報告

本日の出席

会 員	数	69名
出 席	数	56名
出 席	率	80.88%

前回の出席

前 回 出 席 率	73.53%
修 正 出 席 数	62名
確 定 出 席 率	91.18%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、早坂(徳)君、五十嵐(伊)君、金井君、風間君、黒谷君、嶺岸君、三井(徹)君、齋藤(信)君、笹原君、進藤君、藪田君

メークアップ

菅原(辰)君—山形北 RC
吉野君—山形西 RC
阿部(公)君、安藤君、五十嵐(伊)君、板垣君、黒谷君、嶺岸君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、菅原(啓)君、高橋(良)君—鶴岡西 RC

◆ビジター

陶山次郎君、足達一見君—鶴岡西 RC
齋藤作兵衛君—温海 RC

◆点 鐘 会 長

◆ロータリーソング

「それでこそロータリー」

◆ビジターゲスト紹介

◆新会員紹介 石井敬二君
紹介者 阿部 襄君

◆会長報告

◆ゲストスピーチ

鶴岡消防本部 朝岡仲次氏

◆幹事報告

- (1) 例会変更
山形クラブ 4/23 午後6時より
四山楼に変更
- (2) 会報到着
八戸、八戸東、山形南、村上、山形北、温海、新芝田、山形、石巻東
- (3) 葉書で御通知申し上げました4/22の例会変更は新会員(現在6名)歓迎会を

会報はご家族みんなで読みましょう

行います。

尚、例会は職業奉仕委員会と、ロータリー情報委員会大活躍のスケジュールをもって居りますので御楽しみに多数御出席される様御願い申し上げます。親睦委員会、S・A・Aは御協力願います。

- (4) 葉書で御通知申し上げました2名の会員推せんにつき所定の手続を経ましたので皆様に御通知し異議の申立を求めます。
- (5) 来る4/22午後4時(例会前)より新理事会を開きます。

◆本日のゲストスピーカーを御紹介致します
本間文雄氏 鶴岡消防署長

◆会長報告

- ① 去る8日第5回クラブ協議会を開き、半年期の活動計画と予算見直しを行いました。各委員会共格段の御努力に依り活動計画の通り活動されていることはクラブの為に大変喜ばしいことです。尚まだ不十分な委員会もあるとのことですので残る2ヶ月半の間に御努力を御願い致します。

尚、例会終了後5分間理事会を開きますからお残り願います。尚新穂君よりも出席して頂きたい。

- ② みなさん本年の年度始めに申し上げる処でしたが、遅れまして申し訳ありません。本日のロータリーソング「それでこそロータリー」は親睦と友和を現したよいソングですので私の会長時代に鶴岡ロータリーの皆様に実行していただきたいのです。現在でも先輩の張君、小花君、早坂パストガバナー、石黒分区代理外の方々も実施しております。

1. どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にや おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー
2. 笑顔笑顔で 語り合おうよ
心で 結び合おうよ
みんなの世の為 働らき合おうよ
それでこそ ローローロータリー

十何年前でしたか、東京大会に参加し、帝国ホテルのロビーで休んで居った時、外人が手を上げて問いかけて来ましたが、

No. No と手を振って分かれました。これは失敗でした。

8年程前の四国旅行の際、高松空港で是れ又ロータリアンと会いました。新潟クラブの方で氏名は忘れましたが、楽しく話し合いました。

それでは鶴岡クラブの皆様、庄内地区代表して実施しませんか? 反対の方は手を上げて下さい。

＜“消防体制について”＞

鶴岡市消防本部消防長
朝 岡 仲 次

1. 鶴岡地区消防事務組合概況

(昭和50年4月現在)

- 発 足 昭和48年4月1日
- 構成市町村 7市町村(鶴岡市、藤島町、羽黒町、三川町、朝日村、温海町)
- 人 口 163,721人
(内鶴岡市97,973人)
- 世 帯 数 40,779世帯
(同上 26,787世帯)
- 面 積 1341.51 km^2 (同上 234.77 km^2)
- 管 理 者 鶴岡市長
- 組 合 議 会 議員20人(鶴岡市より8人、他町村より各2人)
- 職 員 消防長以下168人
(内訳) 消防本部21人
(消防長、総務課7人、予防課7人、警防課6人) 消防署147人
(署長、本署32人、駅前分署18人、湯野浜分署10人、大山分署10人、藤島分署12人、羽黒分署12人、櫛引分署(50年10月開設予定)12人、朝日分署12人、三川分署(同上)12人、温海分署16人)
- 消防車両等 25台
(内訳) 水槽付消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車8台、予備消防ポンプ自動車2台、可搬式小型動力ポンプ3台、化学車1台、積載車1台、指令車2台、広報車2台、連絡車1台、救急車3台
- 業 務 内 容 消防団関係業務(消防団は市町村毎に単独に設置運営している。)及び消防水利関係業務(消防水利は市町村毎に単独に設置管理している。)を除く消防関係業務全搬とする。

- 予 算 額 昭和50年度、当初予算額
464,468,000円（収入の大部分は、市
町村の分担金である）
- 2. 鶴岡市消防団及び鶴岡市内の消防施設概
況（昭和50年4月現在）
- 団 員 数 団長以下 1,615人（他に予備
消防団員353人）
- 分 団 数 16分団
- 3. 火災発生状況

- 消防ポンプ自動車 25台
- 可搬式小型動力ポンプ 118台（内5台は
自動車に積載、他は台車に積載）
- 消 火 栓 1,083
- 防火貯水槽 411
- 警 鐘 台 197
- 予 算 額 昭和50年度、当初予算額
47,082,000円

区 分	年 別	建物	林野	車両	その他	合 計	焼死者	損 害 額
鶴岡地区消防事 務組合全域分	昭48年	76件	9件	6件	13件	104件	5人	144,428,000円
	昭49年	64	9	6	5	(19%減) 84	1	(25%減少) 109,045,000
同上中鶴岡市分	昭48年	58	4	6	12	80	4	81,456,000
	昭49年	37	5	4	5	(36%減) 51	0	(24%減少) 62,686,000

4. 救急車出動状況

年 別	区 分								合 計
	鶴岡市	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町	朝日村	温海町	その他	
昭 和 48 年	929回	75回	64回	38回	56回	27回	48回	28回	(1日平均3.5回) 1,265
昭 和 49 年	987	86	73	44	73	27	94回	3	(1日平均3.8回) 1,387

5. 危険物施設数（昭和50年1月1日現在）

（屋内貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、屋内タンク貯蔵所、地下タンク貯蔵所、簡易タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所、屋外貯蔵所、給油取扱所一般取扱所等）

鶴 岡 市	藤 島 町	羽 黒 町	櫛 引 町	三 川 町	朝 日 村	温 海 町	合 計
317	30	32	41	11	36	63	530

昭和50年4月

職業奉仕に関するアンケート調査の結果報告

鶴 岡 R C *上野三郎*
職業奉仕委員会

当委員会では、会員の職業奉仕についての考え方や、その実態をつかんで、今後の委員会活動の参考にすると共に、会員の職業奉仕推進のための一助にしたいと考え、去る2月18日全会員にアンケート用紙を配付し回答を求めました。今回その集計を終えましたのでご報告いたします。

I 回答状況

会員数 66名
回答した会員 33名 (50%)

II 回答の内容

質問1. (昨年7月当委員会がお配りした、神守源一郎氏著「ロータリーでいう職業奉仕」をお読みになりましたか。)

回答者 33名
イ 読まない 13名 (39%)
ロ 一部読んだ 7名
ハ ひと通り読んだ 10名
ニ 繰返し読んだ 3名

質問2. (あなたの事業には、従業員の組合がありますか。)

回答者 33名
イ ある 6名
ロ ない 27名 (82%)

質問3. (あなたは、従業員の賃金その他の労働条件を直接決定する立場にあり

ますか。)

回答者	33名
イ ある	30名 (91%)
ロ ない	2名
ハ その他	1名

質問4. (あなたは従業員の賃金その他の労務条件を決めるとき——そういう立場にない方は、そういう立場に立ったとして——一番重要に考えることを一つだけ次から選んで下さい。)

回答者	32名
イ 事業の採算	7名
ロ 従業員の生活	11名
ハ 国の政策	0名
ニ 公平	4名
ホ 世間とのつり合い	4名
ヘ 勤労意欲	5名
ト 従業員との信頼関係	6名
チ その他	0名

(二項目以上を選んだ回答がありました)

質問5. (あなたと従業員との関係について、今どのような状態にあると考えますか。)

回答者	32名
イ 厳しいが温かく協調的でしっかりした信頼関係にあると思う。	23名
ロ 必ずしも今は、しっかりした関係にないがあなたの努力によって改善出来ると思う。	8名
ハ 必ずしもしっかりした関係にないが、その改善にあなたの手の及ばないところにあると思う。	0名
ニ その他	1名

質問6. (あなたは、今年々頭に、今年の職業上の目標、方針として決意されたこと或は、従業員に示された指針があれば書いて下さい。)

回答者	26名
○ (問屋と店、店と顧客の間の) 相互信頼を深めよう。	
○ (患者に対して) 親切に徹せよ。	
○ 工夫と実行。	
○ 与論の動向と節度。	
○ 和。	
○ 悔いなく精一ぱい働け、必ず報いられるであろう。	
○ 和気協力。	
○ 年の初めは、人は皆最高の精神にたちかえるものです。我々は、わが社の創業の	

精神である「知恩報徳」の精神を改めて喚起しましょう。何時でも、何事でも誰に対しても感謝の念を以て行動することです。そして内外共に友達になることです。そしてみんなの和で昭和50年を最良の年に致しましょう。

○ 職場の人間関係の改善と従業員の人間形成。

「チームワークの向上によるみんなの繁栄」について座談会を開く。

○ 誠意奉仕、創意開発、熱意行動。

(10年前に策定した指針ですが、本年は特に強調した。)

○ 今一度、創業精神の原点に立ち帰り、我等今何をなすべきかを考え、そして実行せよ。

○ 常に作品の向上を!

○ お客様を大切に、挨拶を忘れぬこと。

○ 最上のものを、誠実、明朝。

○ 私も従業員も賃金は「もらう」「くれる」ものでなく。みんなで生むものであると考えている。

○ 他人をおもいやりましょう。お互いに助けあいましょう。誠心誠意に努めましょう。そうすれば繁栄するであろう。更に権威あらしめましょう。

○ 健康と意欲の保持、相互信頼と一致協力の強化、お客様位の仕事で信用の拡大、合理化と節約による改益の確保、技術、技能の向上と機材と公害の保全。

○ 良い作品を、早く、安、安全に。

○ 不況を乗り切ることの決意。

○ 協調。

○ いま何をなすべきか。考えて行動することに努めよ。

○ 各人の目標をたてること。

質問7. (あなたの事業所では、これまで新聞ラヂオ、テレビ、ちらし、DM、看板などで広告されたことがありますか。)

回答者	33名
イ ある	39名 (88%)
ロ ない	4名

質問8. (広告するに際して、そのやり方や内容について、一番重要と考えることを次のうち一つだけ選んで下さい。)

回答者	30名
イ いかに広く(多くの人に)伝えるか。	10名

- ロ いかにか良い印象を与えるか。 5名
- ハ いかにか正しく伝えるか。 11名
- ニ いかにか強く印象づけるか。 2名
- ホ 同業者への影響。 1名
- ヘ その他。 4名

(二項目以上選んだ回答がありました。)

なお「取引先メーカーが直接広告することが多いので不当の広告はきびしく抗議するよう努めているが、今のところ余り反社会的なものはない。」と附記された回答がありました。

質問9. (あなたが職業奉仕の実践に当って、現実に関惑され、悔まれたことがありますか。——仕入先、販売先、従業員同業者との関係について、或は、四つのテストについて。)

- 回答者 27名
- イ ある 13名
- ロ ない 14名
- ハ 事例をあげられた方 9名
 - 同業者との関係。
 - 販売先との関係。
 - 医院の能力限界を起える患者数の増加とその処理。保険報酬の低廉と材料費人件費の高騰による医院経営の難しさ。
 - マスコミの歯科医への批判による患者の不信感への対策。学術研修への意欲とその時間の割愛、更に臨床への活用。
 - 従業員の私生活への介入の度合い。
 - 四つのテストの適用について。
 - 従業員に対し、いかにか公正に処するか。具体的には、人事考課をする場合。
 - 事業そのものへの理解のされ方について。
 - 過当競争に対する事業採算の問題。
 - 従業員の態度、非行等。

質問10. (職業奉仕は、ロータリアン個人が実践すべきものであるが、その理解のために職業奉仕委員会に、どんな活動を期待しますか。)

- 回答者 10名
- 主なる内容。
 - 会員、ゲストの職業スピーチ、或は、

- 自分の職業の説明、所感、随想等を会報で紙上発表する。 4名
- 事例発表を 4名
- ファイヤーサイド、ミーティングや討論会と研究会の開催。 7名
- そのときのテーマ
 - 不況の現況とその対策
 - ロータリー精神の(四つのテストの)適用について
 - 私達の企業が社会的にどんな責任をもっているかの反省
 - 従業員をどのようにして企業に協力させているか
- 優良従業員を例会に招待する。 2名
- 同業者を例会に同伴する。 1名
- 四つのテストを判り易く解説する。 1名
- 同業組合等への加入状況を調べる。 1名
- このアンケート調査の結果を知りたい。 1名
- 現業にたづさわる多くの管理者のナマの声をききたい。 1名
- 職業奉仕について他クラブ会員との話し合いの場を。 1名
- 会員の奉仕の事例の蒐集。 1名

Ⅲ 集計を終えて感想と反省。

1. 数限りなくある職業奉仕の機会の中からこのアンケートでは、次の三つの機会をとり上げてその実態をみようと試みました。

- ① 「賃金決定」の機会に。(質問4)
- ② 「経営方針を打ち出す」機会に。(質問6)
- ③ 「広告する」機会に。(質問8)

①及び③については便宜上、回答欄に予め考えられる項目を列挙して、それに○を付して答えて頂く形式をとりましたが、勿論、これら項目はどれも正解という性質のものではありません。むしろこの集計結果をどう読むかが問題かと思えます。

②については、年頭に一年の計として自ら決意されたこと、或は従業員に示された指針を具体的に書いて頂く形で知ろうと試みました。

上記結果の通り26名の会員がこの質問に貴重な回答を寄せられました。これらの一つ一つについて熟読玩味されるようお願いいたします。

2. 質問9は職業奉仕の実践過程で壁に当たった事例を求めたのですが、回答のうち約半数の会員は何らかの困難に当たった経験があると答えておられます。そして、こういう質問には仲々答え憎いと思いますが、9名の会員に何らかの形で事例を書いて頂けたことは有難いことでした。

殊にその内容を具体的にあげて書かれた一會員の真摯な態度と勇氣には誠に敬服いたしました。と同時に当委員会が直接これにどう応え得るのか、只々無力さを感じるばかりですが、ファイヤーサイドミーティングなど、これらの問題について、會員の意見交換の機会をつくることは、これに応える途の一つであろうかと考えます。

3. 職業奉仕委員会の活動に対する要望として10名の会員に多数のご提案を頂きました。最も多かったのは、テーマをきめたミーティングなどの開催を要望する声でありました。

これは、前年度、当クラブで試みた二回の例会に亘る討論会が非常に充実した内容のあるもので、その継続を期待するものと受取りました。その機会を是非持ちたいと考えております。

4. 当委員会が昨年7月、第358地区ガバナー事務所から特に頒けて頂いて、全會員に配付した冊子、「ロータリーでいう職業奉仕」は、全員に洩れなく読んで頂けたものと思っていたが、今回の調査で約40%の會員は全く読んでいないという答が出たことは、少なからずショックでした。

やはり、こういうものは配りっぱなしでなく、必要に応じては、例会で少しづつでも朗読するとか、内容の一部を興味をもつように紹介するとか、読んでもらおう、工夫と努力が必要であることを痛感いたしました。しかし、この結果から少なくとも、四つのテストの「真実かどうか」は身についている會員が多いと集計子は感じとりました。

5. 質問形式はなるべく答え易いように配慮したつもりですが、**回答率50%**は、**予想外に低い結果**でした。質問の出し方にも、ま

だまだ不十分な点が多かったと思いますし又、やはり繰返し繰返し提出をお願いすべきであったと、この点の努力不足を反省して居ります。

6. 回答率の低調にも拘らず、特に質問6.9.10では集計子の予想以上に多くの貴重な事例やご意見を得たことは、この試みの大きな収穫であったと考えます。

7. 以上アンケートの集計結果と感想、反省の一端を述べ、且つこの結果を今後の奉仕実践のご参考にして生かされることをお願いし、更に、回答をよせられた會員諸兄に深く感謝しつつこの報告を終ります。

以上

(以下前号より続く)

第四、奉仕の理想に結ばれた、実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること、とありますが、これは唯、単なる推進運動であるがために、70年間に奉仕して来たロータリーも、世界平和を見る事が出来なかったことは、1922年(大正11年)に定款及び細則が完全に改正せられた。とすれば、又、綱領の改正が必要がないかと考えるべきではなからうか。改正が必要であるか、必要でないかは別として、我々は常に、次の気持であらねばならんではなからうか、と思われる。それは、

第五、“単なる推進奉仕運動でなく、徹底的に調和のとれた、世界平和の獲得をすること”。を全ロータリアン、各自が足並みそろえて、ロータリーの“奉仕の理想”に邁進徹底致しましょうではありませんか。

はっきり云って、単なる R.I 会長、理事会、役員、ガバナー連中、クラブ会長、幹事理事会、役員、特に委員連中だけ一生懸命では、ロータリーはよくなりませんと思われまますから、私達ロータリー情報委員会はくれぐれも皆様によろしく、おねがい致します。殊に、あなたのクラブはそうでないでしょうね。

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。